

市立特別支援学校設置に向けた取組み

松本市教育委員会

子どもが主人公
学都松本のシンカ



学びに、遊びや体験を。

松本市の取り組みや課題

松本市発達障がい児等の支援に関する条例(令和6年4月施行)

- ▶ 全てのこどもが共に学び、未来を切り開いていく力を育み、安心して自立した生活を送ることのできるインクルーシブな共生社会を実現する(条例前文)
- ▶ 発達障がい児等が、小・中学校等において、その時点での教育的ニーズに対して、最も適切で、かつ、連続性のある支援を受けられるよう、多様な学びの場の整備に努める。(条例第3条第3号)



特別支援学校を含む、連続性ある多様な学びの場を備えた学校の整備を推進

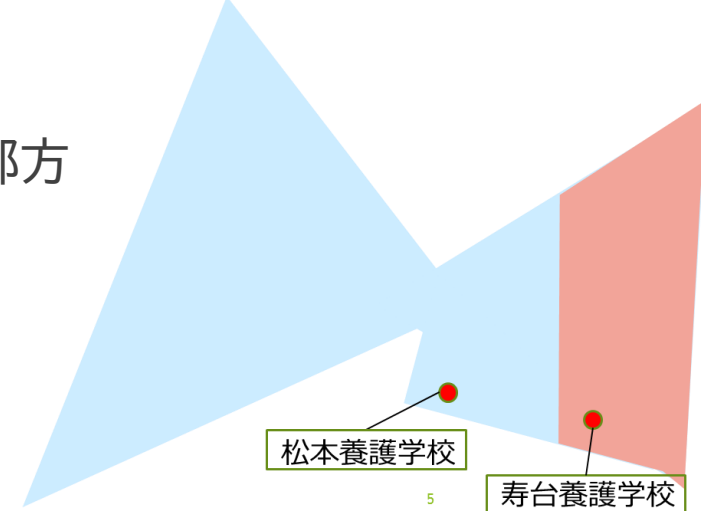
特別支援学校の配置上の課題

- ▶ 県立松本養護学校、寿台養護学校が市南部に設置されているため、特に、北部方面からの通学や副学籍交流での送迎の負担があります。



住み慣れた地域で共に学び、多様性を認め合う子どもを育む

養護学校（本校）の市内設置状況

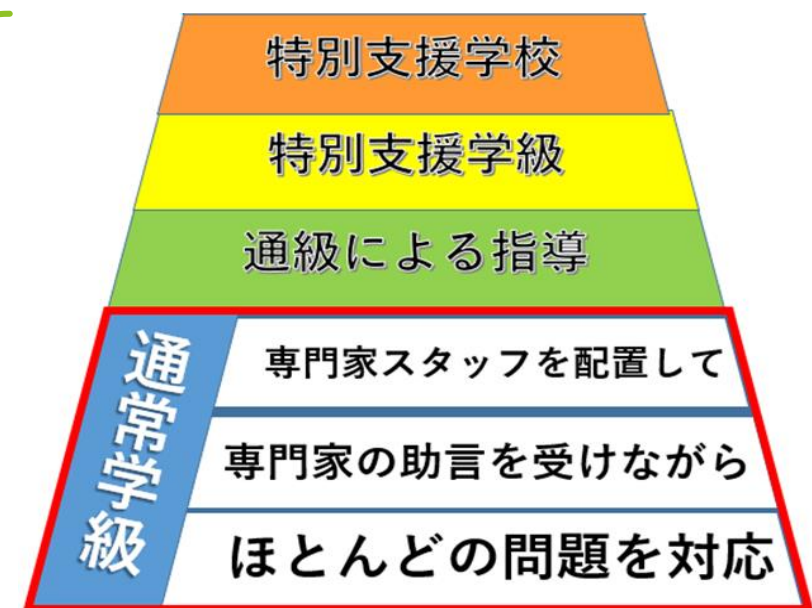


市立特別支援学校のコンセプト

市立小・中学校に併設した特別支援学校

- ▶ 特別支援学校を地域の小中学校に併設することで、住み慣れた地域で共に学び、多様性を認め合う子どもを育む
- ▶ 「特別支援学校」、「特別支援学級」、「通級による指導」、「通常学級」等の多様な学びの場を用意し、個々の教育的ニーズへ対応
- ▶ 地域社会・環境を生かした学びや活動の充実

校内に連続性のある多様な学びの場を設置した
インクルーシブな学校



第1回特別支援教育フォーラム（令和6年9月21日開催）

「地域で学び続ける学校づくり～市立須坂支援学校の実践から～」

県内で唯一、小学校と特別支援学校が併置された須坂市立須坂支援学校・須坂小学校の小松校長先生に講演いただきました。講演では、開校までの道のり、地域に根差した学校を目指す取り組みや小学校と日常活動での交流の様子などを教えていただきました。

一つの学校で過ごすことで、ともに学び合う関係が生まれていることを学びました。

市立特別支援学校の開校に向けて

開校までの流れ(予定)

【R 6】

- ・インクルーシブな教育環境に係るフォーラムの開催
- ・関係者等へのヒアリングを実施

【R 7】

- ・市教育委員会に「特別支援学校設置準備室」を設置（推進体制の整備）
- ・外部有識者含む準備委員会の立上げ
- ・場所の具体的選定
- ・地元・保護者説明会

【R 8以降】

- ・県立特別支援学校分教室の設置
- ・校舎改修・増築計画、設計、工事
- ・学校のグランドデザイン策定
- ・支援体制の充実
- ・保護者説明、児童募集・・・

開 校（時期未定）

課題等

- ・インクルーシブ教育推進のモデル的な取組みとしての周知や理解
- ・特別支援学校の市立小・中学校への併置の検討と地元理解の促進
- ・教員配置の確保
- ・ゆとりあるスペースの確保（校舎設計）
- ・支援体制の充実 等